



これまでの経験を遺憾なく発揮できる  
居心地よい職場を作っていきたい(坂口)



坂口さん

長期休暇の際などは子どもを職場に連れていけるのでありがたいですね。仕事をしようになると子どもと距離を置くようになると、愛おしさが増えました。お互いに思いやる気持ちが強くなって、子どもも私の仕事に興味を持ち応援してくれるようになります、仕事を通して子どもの成長を実感しています。

坂口 弊社の場合、1年の育児休業を経てほぼ100%の割合で復職しています。私も育児休業を取りました。復職先は元いた部署が基本です。仕事も人間関係もわかっているのでみなさん安心して戻られています。時短勤務については、法律に定める範囲を大きく超えて子どもが小学3年生の始期に達するまで取得できません。私自身も子育て中のため定時勤務が基本ですので、効率的に業務を行

うように心がけています。また、帰宅後の限られた時間の中で意識的に子どもとの時間を大切にしています。

再就職を目指す女性に  
エールをお願いします。

森川 年齢とともにどうしても仕事を覚えるのが遅くなってくるので、不安ですよね。でも、「教えてください」と甘え上手になれば周りの人は教えてくれます。我が社では50代で入ってくる人もいます。シニアの方はOA機器の扱いが苦手だったりしますが、まず、できることから始めてもらおうとしています。意欲があれば大丈夫！そんな事業所はきっと身近にあります。

松田 仕事探しをしていると、「事務だから」「営業だから」といった先入観を持ちがちですが、まずはそういった先入観を捨てるのが大事かなと思います。

一人ひとりが必要とされていると  
感じながら成長できる  
職場づくりを進めたい(山本)

ます。何が大変かは、人によって捉え方や感じ方が違うだけです。どの仕事も大変ですが、その中で自分に合った業界や職種を探せばいいと思います。

坂口 弊社は昨年、人事制度を見直して専門職系、総合職系と分かれて自分のキャリアを選択できる制度を設けました。将来的にはそれぞれの希望に応じた働き方を人事の方でサポートできたらと考えています。子育てや親の介護と向き合いながら自分のペースで仕事をしたい人も安心してキャリアを選択できます。今後の目標は、中途採用の社員が遠慮なく発言できる環境づくり。社員みんなにとって居心地がよい雰囲気を作っていきたいですね。



山本さん

山本 介護の仕事の場合、職員が利用者さんの長所や自立してできることを理解していないと、利用者さんに必要な支援ができないと思います。そのためには職員が長所を伸ばさせて受け入れられている、必要とされていると感じながら成長していける、そんな職場でなければと考えています。だから、資格はなくても介護に対して「人と関わっていることがうれしい」「高齢者のお世話をすることに喜びを感じる」といった前向きな気持ちが大変重要。必要なスキルは採用後からしっかり学べますので心配せずに一歩踏みだしてみてください。

再就職なさったお二人に  
今後の目標を教えてください。

松田 がんばった分だけお給料に反映されるので、家族で旅行や食事などにいきたいです。家族の生活の充実と老後の安定を目標に、長く働き続けたいですね。

森川 私は上司に認めてもらってステップアップできました。店長としてお店の売り上げが上がれば表彰され褒賞金をいただけ、みんなが食事にしてくれるのがありがたいですね。14名いるスタッフを束ねて、若いスタッフが目標にしてくれる店長になりたいです。

みなさん、  
ありがとうございました。